

コード	741580
-----	--------

名 称	木製盛土補強工据付
-----	-----------

出 典	山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱 第8-7
-----	--------------------------

改訂日	
-----	--

単 位	100基当り
-----	--------

名 称	単 位	数 量	備 考
丸 太	本	100	末口径9~16cm 長さ1.0m
丸 太	本	100	末口径9~16cm 長さ2~4m
連結プレート	枚	200	1.6×40×300mm
鉄 釘	kg	1.63	N75
普通作業員	人	2	組立・据付

摘 要	丸太は県産スギ間伐材、皮あり使用
-----	------------------

コード	741620
-----	--------

名 称	集水井用安全柵設置
-----	-----------

出 典	土木工事標準積算基準書（県版）Ⅲ-4-1
-----	----------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1基当り
-----	------

名 称	安全柵（基）	普通作業員（人）	備 考
集水井径 4.0m	1	0.9	0.05 人/m × (4.0+0.5) m × 4
集水井径 3.5m	1	0.8	0.05 人/m × (3.5+0.5) m × 4
集水井径 3.0m	1	0.7	0.05 人/m × (3.0+0.5) m × 4

摘 要	安全柵は立格子タイプ門扉を含み、高さ 1.2m を標準とする。
-----	---------------------------------

コード	742010
-----	--------

名 称	ヤナギ挿木
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 治山編 3-13(3)
-----	--------------------------

改 訂 日	291001
-------	--------

単 位	1000 本当り
-----	----------

名 称	単位	数量	備 考
普通作業員 (山林砂防工)	人	0.5	採取、挿し木

摘 要	ヤナギ類等の挿し木を現地採取し、木製護岸工等に挿し木する。 挿し木は長さ 20cm、径 2cm 程度とする。 () 山林砂防工の適用条件を満たす場合
-----	---

コード	742050
-----	--------

名 称	機械植付け (大苗木)
-----	-------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-3-4(2) 治山編 5-1-3 土木工事標準積算基準書 V-1-①-8
-----	---

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	100 本当り
-----	---------

苗木規格	世話役 (人)	普通作業員 (人)	機械床掘 (m ³)	備 考
樹高 3.0m 以下, 幹回 0.12m	1.7	6.2	14	12.1-0.42×14
樹高 3.0m 以下, 幹回 0.15m	2.3	5.1	27	16.4-0.42×27
樹高 3.5m 以下, 幹回 0.15m	3.3	12.3	27	23.6-0.42×27
樹高 3.5m 以下, 幹回 0.20m	4.8	15.3	44	33.8-0.42×44
樹高 4.0m 以下, 幹回 0.20m	6.6	28.3	44	46.8-0.42×44
樹高 4.0m 以下, 幹回 0.30m	8.9	30.8	76	62.7-0.42×76

摘 要	<p>1 車歩道の隣接地等の機械による植え穴の床掘が可能な場合で、樹高 2.5 m を越える苗木の植え付けに適用するものとし、人力との併用で (人力 : 機械 = 8 : 2) を標準とする。</p> <p>2 苗木は根鉢付きの場合である。</p> <p>3 バックホウは油圧式クローラ型バケット山積 0.055m³ を標準とする。 ただし、作業用車歩道の幅員や地形等による制約がない場合には、山積 0.13m³ 級とする。</p> <p>4 普通作業員について、植穴の機械掘削分を控除している。</p>
-----	--

コード	742055
-----	--------

名 称	マルチング (敷均し)
-----	-------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-3-4(4)
-----	---------------------------

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	10m ³ 当り
-----	---------------------

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人	1.2	2.4×50%

摘 要	<ol style="list-style-type: none">1 小運搬が必要な場合は別途計上する。2 チップマルチ及びバークマルチに適用する。
-----	--

コード	742060
-----	--------

名 称	バックホウ運転 (山積 0.055m ³)
-----	-----------------------------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-4-3(2)⑤、治山編 1-1-3(2)、1-1-4(2)
-----	--

改訂日	290401
-----	--------

単 位	1時間当り
-----	-------

名 称	単 位	数 量	備 考
バックホウ機械損料	時間	1	
特殊作業員	人	0.18	1/5.6
軽 油	ℓ	2.0	13kw/h×0.153ℓ/kwh

摘 要	<p>1 バックホウ山積 0.055m³ (平積 0.04m³)</p> <p>運転日当り標準運転時間 5.6h/日 (クローラ型山積 0.13m³ 準用)</p> <p>供用日当り標準運転時間 3.9h/日 (")</p> <p>(H27. 治山編 1-1-3(2)2) 備考 4 参照)</p>
-----	--

コード	742080
-----	--------

名 称	人力地拵え
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 治山編 5-1-4(1)
-----	---------------------------

改 訂 日	271001
-------	--------

単 位	100m ² 当り
-----	----------------------

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人		摘要参照

摘 要	1 歩掛は以下のとおり					
	種別	状態	伐開 (人)	片付 (人)	計 (人)	備考
	笹竹	密生	0.28	0.18	0.46	全刈
	〃	疎生	0.20	0.11	0.31	〃
	草(かや等)	密生	0.17	0.09	0.26	〃
	〃	疎生	0.12	0.05	0.17	〃
	2 刈払い面積は、実面積とし、立木の伐倒は含まない。					
3 片付けは、伐倒木、枝条、その他植生を林内の一定箇所に集積する作業である。						

コード	742120
-----	--------

名 称	追肥（成木施肥）
-----	----------

出 典	スギの生産管理基準（表-23 除伐後の施肥基準）
-----	--------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 ha 当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人	2.0	

摘 要	1 施肥方法は樹冠縁下ばらまきとし、窒素成分施肥量は1ha 当り 70（60～80）kg を標準とする。
-----	--

コード	742150
-----	--------

名 称	除伐
-----	----

出 典	山形県森林施業支援事業標準単価算出基礎 2(2)オ
-----	---------------------------

改 訂 日	271001
-------	--------

単 位	100 本当り
-----	---------

(1) 選木・伐倒

名 称	単 位	数 量	備 考
特殊作業員	人	0.16	選木
普通作業員	人	0.16	選木
諸 雑 費	%	4	選木労務費の4%
特殊作業員	人	0.32	伐倒
普通作業員	人	0.32	伐倒
諸 雑 費	%	6	伐倒労務費の6%

(2) 現地条件による補正 (%)

占有植生	傾 斜		
	20° 未満	20° 以上 30° 未満	30° 以上
カ、笹類、ツル、バラ類	-10	0	10
灌木類	-25	-15	-5

摘 要	<p>1 選木の諸雑費は、ナンバーテープ等の消耗品の費用</p> <p>2 伐倒の諸雑費は、チェーンソーの損料、燃料及びチェーンオイル等の伐倒に必要な機械器具の使用に要する費用</p>
-----	--

コード	742180
-----	--------

名 称	枝落とし
-----	------

出 典	山形県森林施業支援事業標準単価算出基礎 2(2)イ
-----	---------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	100 本当り
-----	---------

名 称	単位	数量	備 考
普通作業員	人	0.9	

摘 要	110 本/人より 0.9 人/100 本
-----	-----------------------

コード	742190
-----	--------

名 称	つる切り
-----	------

出 典	
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 ha 当り
-----	---------

名 称	単位	数量	備 考
普通作業員	人	3.5	

摘 要	
-----	--

コード	742200
-----	--------

名 称	本数調整伐（選木・伐倒・枝払い）
-----	------------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-2-3 山形県営林伐出作業積算因子及び代価表
-----	--

改 訂 日	291001
-------	--------

単 位	100 本当り
-----	---------

(1) 選木

名 称	単位	数 量	備 考
特殊作業員	人	0.16	
普通作業員	人	0.16	
諸 雑 費	%	4	

摘 要	<p>1 伐倒対象立木を選木し標示するまでの作業を含む。</p> <p>2 諸雑費は、ナンバーテープ等の消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。</p>
-----	---

(2) 伐倒

名 称	単位	平均胸高直径					備考
		10cm 未満	10cm 以上 16cm 未満	16cm 以上 22cm 未満	22cm 以上 28cm 未満	28cm 以上	
特殊作業員	人	0.23	0.32	0.42	0.52	0.63	
普通作業員	人	0.23	0.32	0.42	0.52	0.63	
諸 雑 費	%	6					

摘 要	<p>1 伐倒木を地面に引き落とし、移動を抑える枝払いまでの作業を含む。</p> <p>2 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。</p> <p>3 上表は針葉樹の歩掛であり、広葉樹の場合は労務費に対し補正率 1.43 (=1/0.7) を乗じる。</p>
-----	---

(3) 枝払

名 称	単位	平均胸高直径					備考
		10cm 未満	10cm 以上 16cm 未満	16cm 以上 22cm 未満	22cm 以上 28cm 未満	28cm 以上	
特殊作業員	人	0.21	0.24	0.28	0.31	0.35	
普通作業員	人	0.21	0.24	0.28	0.31	0.35	
諸 雑 費	%	8					

摘 要	<p>1 伐倒木を丸太に玉切し片付ける作業の支障とならないように切り落とす程度までの作業を含む。</p> <p>2 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。</p> <p>3 上表は針葉樹の歩掛であり、広葉樹の場合は労務費に対し補正率 1.43 (=1/0.7) を乗じる。</p>
-----	---

(4) 作業難易度による補正

作業の難易度	作業条件	補正係数
易	灌木や枝葉、転石、伐根がほとんどなく、作業のための移動や歩行が容易な場合	-10%
中	易あるいは難以外の場合	0%
難	灌木や枝葉、転石、伐根等の障害物により、作業のための移動や歩行に大きな支障がある場合	10%

摘 要	作業の難易度により上表の範囲内で補正を行うことができる。
-----	------------------------------

コード	
-----	--

名 称	チェーンソー運転
-----	----------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-2-1(3)
-----	---------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1日当り
-----	------

名 称	単 位	数 量	備 考
機械損料	日	1.0	鋸長 500mm
混合油	ℓ	5.2	1 : 20
チェーンオイル	ℓ	0.1	#80

摘 要	
-----	--

コード	742207
-----	--------

名 称	本数調整伐（玉切り・木寄せ）
-----	----------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-2-3 山形県営林伐出作業積算因子及び代価表
-----	--

改 訂 日	291001
-------	--------

単 位	100 本当り
-----	---------

(1) 玉切り

名 称	単 位	平均胸高直径					備 考
		10cm 未満	10cm 以上 16cm 未満	16cm 以上 22cm 未満	22cm 以上 28cm 未満	28cm 以上	
特殊作業員	人	0.18	0.20	0.23	0.26	0.29	
普通作業員	人	0.18	0.20	0.23	0.26	0.29	
諸 雑 費	%	9					

摘 要	<p>1 小運搬及び集積できるように、一定の長さの丸太に玉切るまでの作業を含む。</p> <p>2 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。</p> <p>3 上表は針葉樹の歩掛であり、広葉樹の場合は労務費に対し補正率 1.43 (=1/0.7) を乗じる。</p>
-----	--

(2) 木寄せ

名 称	単 位	平均胸高直径					備 考
		10cm 未満	10cm 以上 16cm 未満	16cm 以上 22cm 未満	22cm 以上 28cm 未満	28cm 以上	
普通作業員	人	0.30	0.39	0.51	0.62	0.71	
諸 雑 費	%	1					

摘 要	1 丸太を水平に並べ、転落、流出しないように集積または固定し整理するまでの作業及び 20m 程度の小運搬を含む。
-----	--

	2 諸雑費は、木回し（フェリングレバー）等の損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。
--	---

（4）作業難易度による補正

作業の難易度	作業条件	補正係数
易	灌木や枝葉、転石、伐根がほとんどなく、作業のための移動や歩行が容易な場合	-10%
中	易あるいは難以外の場合	0%
難	灌木や枝葉、転石、伐根等の障害物により、作業のための移動や歩行に大きな支障がある場合	10%

摘 要	作業の難易度により上表の範囲内で補正を行うことができる。
-----	------------------------------

コード	742210
-----	--------

名 称	保育補助工
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛 2(4)
-----	--

改訂日	
-----	--

単 位	1基当り
-----	------

名 称	単位	数 量	備 考
主 柱	本	1	長さ 1.5m 末口径 9cm 以上
支 柱	本	2	長さ 1.8m 末口径 9cm 以上
普通作業員	人	0.23	建込 0.90 人/10 本×0.7+1.20/10 本×0.7×2 本
普通作業員	人	0.02	結束 0.01 人/箇所×2 箇所
雑材料	%	8	結束線の費用で、結束労務費の 8%

摘 要	<p>1 対象齢級はⅠ齢級を標準とするが、積雪及び成育状況により必要な場合にはⅢ齢級を上限として実施できるものとする。</p> <p>2 対象箇所は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大積雪深が 1.5m 以上かつ雪のグライドにより被害を受けやすい斜面（傾斜約 25 度以上） ・植栽後の被害状況から判断して、被害の累積により成林が期待できない箇所 <p>3 群杭の密度は、約 40m² に 1 基を標準とし、千鳥配置とする。</p> <p>4 結束線は亜鉛引鉄線#8 とする。</p> <p>5 結束労務 (0.16+0.77)/100=0.01 人/箇所</p>
-----	---

コード	742220
-----	--------

名 称	根踏み
-----	-----

出 典	スギの生産管理基準
-----	-----------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 ha 当り
-----	---------

名 称	単位	数量	備 考
普通作業員	人	4.0	

摘 要	
-----	--

コード	742230
-----	--------

名 称	誤伐防止標
-----	-------

出 典	
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	1000 本当り
-----	----------

名 称	単位	数量	備 考
籐 竹	本	1000	長さ 1.5～2.0m
蛍光テープ	m	300	1 本当り 30cm、幅 2cm
普通作業員	人	1.2	

摘 要	<p>1 雑草木が繁茂して、下刈時に誤伐される恐れのある植栽木の側方に設置する。</p> <p>2 植栽翌年の根踏時等の下刈前に設置することができる。</p>
-----	---

コード	742250
-----	--------

名 称	下刈り
-----	-----

出 典	森林整備保全標準歩掛 治山編 5-1-9
-----	----------------------

改 訂 日	301001
-------	--------

単 位	1ha 当り
-----	--------

(1) 施工歩掛

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人	0.8	
特殊作業員	人	6.8	
諸 雑 費	%	2	

摘 要	<p>1 草刈機と鎌の併用により実施する全刈り（1回刈り及び2回刈り）の下刈り作業に適用する。</p> <p>2 草刈機に作業時間は、1人1日当り2時間以内として計上している。</p> <p>3 諸雑費は、草刈機の損料、燃料、替刃、目立用ヤスリ並びに下刈鎌の損料及び砥石の経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。</p>
-----	---

(2) 現地条件による補正

(単位：%)

占有植生	植生被覆率	傾斜		
		20°未満	20°以上 30°未満	30°以上
草、笹類、竹類	50%未満	-10	0	10
	50%以上 80%未満	0	10	20
	80%以上	10	20	30
灌木類	50%未満	-25	-15	-5
	50%以上 80%未満	-15	-5	5
	80%以上	-5	5	15
ツル、バラ類	40%未満	-10	0	10
	40%以上 70%未満	0	10	20
	70%以上	10	20	30

摘要	<p>1 補正の手順は以下のとおり 占有率の最も高い占有植生を判定する。 植生被覆率を判定し、 で判定した占有植生率から該当する植生被覆率を選定する。 傾斜を判定し、 で選定した欄と該当する傾斜の交点の係数を補正率として決定する。</p> <p>2 植生被覆率は、植生は地表面を被覆している割合で、下列の対象とする草本類と占有植生の地表面に対する水平投影面積を百分率で表したものであるとする。</p> <p>3 傾斜は、作業地内の平均傾斜とする。</p> <p>4 作業地の条件等から本補正率が適用できない場合は、別途考慮するものとする。</p>
----	---

(3) 回数による補正

本標準工程は、年1回下刈(全刈り)を行う場合を標準としたものであり、年2回下刈(全刈り)を実施する場合は、次表により補正を行う。

区分	補正係数(%)	
年1回全刈りを行う場合	100	
年2回全刈りを実施する場合	1回目	100
	2回目	86

コード	742270
-----	--------

名 称	雪起し
-----	-----

出 典	山形県森林施業支援事業標準単価算出基礎 2(2)7
-----	---------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 ha 当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
縄	玉	10	太さ 2.5 分、200m/玉 (2.5kg)
普通作業員	人	6.7	

摘 要	1 雪起し率は 30% の場合であり、雪起し率に応じて人工数及び使用材料を増減する。
-----	--

コード	742290
-----	--------

名 称	既設作業道（歩道）刈払い
-----	--------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 1-2-1(2)
-----	---------------------------

改 訂 日	191001
-------	--------

単 位	1 km 当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
草刈機運転	日	1.4	0.5m×2×1000m×0.14/100m ²
特殊作業員	人	1.4	

摘 要	<p>1 刈幅は片側 0.5m を標準とし、これにより難しい場合は、別途積算する。</p> <p>2 草刈機運転は標準歩掛共通 1-2-1(2) (参考)による。</p> <p>運転日当り運転時間は 2 時間とする。</p>
-----	--

コード	742300
-----	--------

名 称	機械切取 (バックホウ山積 0.055m ³)
-----	-------------------------------------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 治山編 1-1-3(2)、1-1-4(2)
-----	------------------------------------

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	100m ³ 当り
-----	----------------------

名 称	単 位	数 量	備 考
バックホウ運転	時間		100/Q

摘 要	<p>1 時間当り土工量：$Q = (3600 \times q \times E) / C_m$</p> <p>$q$：1 サイクル当り掘削積込量 (m³)</p> <p>$q = 0.98 \times q_0$ (平積容量 = 0.04m³) = 0.04m³</p> <p>C_m：1 サイクル所要時間 = 28sec (旋回角度 45 度)</p> <p>E：作業効率 (山地治山 B 溪間工)</p> <p>砂・砂質土 0.65</p> <p>粘性土・礫質土 0.55</p> <p>岩塊・玉石 0.45</p> <p>軟岩 IA 0.45</p>
-----	--

コード	742310
-----	--------

名 称	三脚鳥居支柱
-----	--------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 治山編 5-2(3)
-----	-------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1基当り
-----	------

名 称	単 位	数 量	備 考
支 柱	本	3	径6～11cm 長さ1.8m
横 木	本	1	径6～11cm 長さ0.6m
添 柱	本	1	径6～11cm 長さ2.0～4.0m
雑 材 料	%	20	結束材料等で丸太金額の20%
世 話 役	人	0.025	0.02×5/4本
普通作業員	人	0.24	0.19×5/4本

摘 要	県産スギ間伐材使用
-----	-----------

コード	742330
-----	--------

名 称	竹三本支柱
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 治山編 5-2(4)
-----	-------------------------

改訂日	
-----	--

単 位	1基当り
-----	------

幹周 8～15cm 用、止め杭あり

名 称	単 位	数 量	備 考
真 竹	本	3	支柱用 長さ 2.5m 径 4cm
真 竹	本	3	止め杭用 長さ 0.7m 径 4cm
雑材料	%	20	結束材料等で真竹金額の 20%
世話役	人	0.01	
普通作業員	人	0.11	

小苗木用、止め杭なし

名 称	単 位	数 量	備 考
真 竹	本	3	長さ 1.5m 径 4cm
雑材料	%	20	結束材料等で真竹金額の 20%
世話役	人	0.005	0.01×3本/6本
普通作業員	人	0.055	0.11×3本/6本

摘 要	
-----	--

コード	742340
-----	--------

名 称	竹一本支柱
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 治山編 5-2(1)
-----	-------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1基当り
-----	------

名 称	単 位	数 量	備 考
真 竹	本	1	長さ 1.0m、1.5m、2.6m 径 4cm
雑材料	%	20	結束材料等で真竹金額の 20%
世話役	人	0.001	
普通作業員	人	0.032	

摘 要	
-----	--

コード	742350
-----	--------

名 称	階段工 (横木 2 本)
-----	--------------

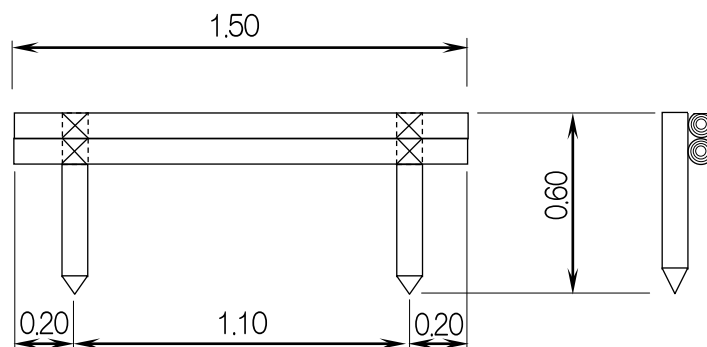
出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛 2(4)
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	10 段当り
-----	--------

名 称	単位	数 量	備 考
杭 木	本	20	径 6~11cm 以上、長さ 0.60m
横 木	本	10	径 14cm 以下、長さ 1.50m、一面落
横 木	本	10	径 6~11cm 以上、長さ 1.50m
普通作業員	人	0.40	横木結束 0.01 人/箇所×40 箇所
普通作業員	人	0.42	杭木設置 0.06 人×0.60m/1.20m×0.7×20 本
雑 材 料	%	3	結束線の費用で、結束労務費の 3%

摘 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 資材の運搬が必要な場合は別途計上する。 2 撤去の場合は、本歩掛の 20%とする。 3 結束線は、なまし鉄線#12 とする。 4 床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。 5 結束労務 (0.16+0.77)/100 箇所=0.01 人/箇所
-----	---



構造図

コード	742360
-----	--------

名称	階段工 (横木 3 本)
----	--------------

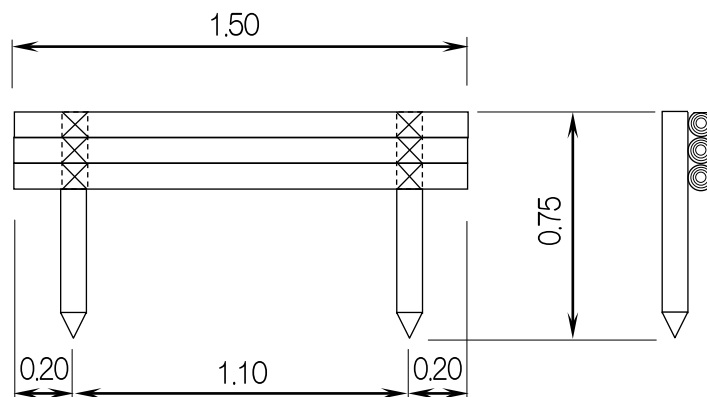
出典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛 2(4)
----	--

改訂日	
-----	--

単位	10 段当り
----	--------

名称	単位	数量	備考
杭木	本	20	径 6~11cm 以上、長さ 0.75m
横木	本	10	径 14cm 以下、長さ 1.50m、一面落
横木	本	20	径 6~11cm 以上、長さ 1.50m
普通作業員	人	0.60	横木結束 0.01 人/箇所×60 箇所
普通作業員	人	0.53	杭木設置 0.06×0.75m/1.20m×0.7×20 本
雑材料	%	3	結束線の費用で、結束労務費の 3%

摘要	<ol style="list-style-type: none"> 1 資材の運搬が必要な場合は別途計上する。 2 撤去の場合は、本歩掛の 20%とする。 3 結束線は、なまし鉄線#12 とする。 4 床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。 5 結束労務 (0.16+0.77)/100 箇所=0.01 人/箇所
----	---



構造図

コード	742380
-----	--------

名 称	木道工
-----	-----

出 典	
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 m3 当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人	2.35	

摘 要	<p>1 構造型木道（二次製品）の設置に適用し、現場製作によるもの及び敷板型木道については適用しない。</p> <p>2 構造型木道とは、支柱、受木等により敷板を支持する型式のものをいう。</p>
-----	--

コード	742390
-----	--------

名 称	運搬路補修
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 林道編 1-1
-----	----------------------

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	1 m ³ 当り
-----	---------------------

種 別	普通作業員 (人)	備 考
敷砂利	0.11	

摘 要	<p>1 敷砂利量の 1 / 2 について計上する。</p> <p>2 補修材の数量は車輪の幅を考慮して決定する。</p> <p>大型車・・・車輪幅片側 1.0m</p> <p>小型車・・・車輪幅片側 0.8m</p>
-----	---

コード	743000
-----	--------

名 称	人力除雪
-----	------

出 典	土木工事標準積算基準書（県版）Ⅱ-5-7
-----	----------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 m3 当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
普通作業員	人	0.03	

摘 要	
-----	--

コード	743010
-----	--------

名 称	バックホウ除雪
-----	---------

出 典	
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 時間当り
-----	--------

名 称	単 位	数 量	備 考
バックホウ運転	時間	1	

摘 要	<p>除雪費：C=バックホウ 1 時間当り運転時間×V</p> $V = (A \times H) / Q$ $Q = (3600 \times q \times E) / C_m$ <p>V：バックホウ除雪作業時間 A：除雪面積 (m²) H：該当工事算定積雪深 (m) Q：バックホウ 1 時間当り作業量 (m³/h) q：1 サイクル当り掘削積込量 (m³) C_m：1 サイクル所要時間 (旋回角度 90 度 30sec) E：作業効率 1.00</p>
-----	---

コード	743020
-----	--------

名 称	ブルドーザ除雪
-----	---------

出 典	
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	1 時間当り
-----	--------

名 称	単 位	数 量	備 考
ブルドーザ運転	時間	1	

摘 要	除雪費： $C = \text{ブルドーザ 1 時間当り運転単価} \times T$ $T = t_n \times N$ $t_n = A / A_1$ T ：ブルドーザ除雪作業時間 (h) t_n ：ブルドーザ除雪 1 回当り作業時間 (h) N ：除雪回数 (10cm 以上の降雪日数) A ：除雪面積 (m ²) A_1 ：1 時間当り除雪可能面積 (m ² /h) ブルドーザ除雪可能面積													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>1 回当り除雪幅 (m)</th> <th>1 時間当り除雪可能面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 1 t</td> <td>3.7</td> <td>$3.7 \times 3500 = 12,950$</td> </tr> <tr> <td>1 5 t</td> <td>3.5</td> <td>$3.5 \times 3500 = 12,250$</td> </tr> <tr> <td>1 1 t</td> <td>3.0</td> <td>$3.0 \times 3500 = 10,500$</td> </tr> </tbody> </table>			規 格	1 回当り除雪幅 (m)	1 時間当り除雪可能面積 (m ²)	2 1 t	3.7	$3.7 \times 3500 = 12,950$	1 5 t	3.5	$3.5 \times 3500 = 12,250$	1 1 t	3.0
規 格	1 回当り除雪幅 (m)	1 時間当り除雪可能面積 (m ²)												
2 1 t	3.7	$3.7 \times 3500 = 12,950$												
1 5 t	3.5	$3.5 \times 3500 = 12,250$												
1 1 t	3.0	$3.0 \times 3500 = 10,500$												

コード	S7A897
-----	--------

名 称	目地工 (加工・据付)
-----	-------------

出 典	H26 土木工事標準積算基準書 II-2-21
-----	-------------------------

改訂日	290401
-----	--------

単 位	10m2 当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
目 地 板	m2	11.2	10 × (1 + 0.12)
一般世話役	人	0.05	
普通作業員	人	0.29	

摘 要	<p>1 目地板の使用数量</p> <p>使用量 (m2) = 設計量 (m2) × (1 + K)</p> <p>K:ロス率 0.12</p>
-----	--

コード	S7A901
-----	--------

名 称	吸出防止材設置
-----	---------

出 典	H26 土木工事標準積算基準書 II-2-20
-----	-------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	100m2 当り
-----	----------

名 称	単 位	数 量	備 考
吸出防止材	m2		全面：107m2、点在：100m2
普通作業員	人	0.6	

摘 要	全面に設置する場合の重ね合せ等による材料の割増し率は+0.07 とし、点在する場合の割増し率は0 とする。
-----	---

コード	
-----	--

名 称	仮設防護柵（控杭タイプ）
-----	--------------

出 典	土木工事標準積算基準書（県版） III-5-1 森林整備保全事業標準歩掛 共通編 6-1-2、8-1-2(3)
-----	--

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	10m当り
-----	-------

名 称	単 位	数 量	備 考
主 柱	m	22.5	単管 450×φ48.6mm×5
横 梁	m	20.0	単管 400×φ48.6mm×5
控 木	m	15.0	単管 300×φ48.6mm×5
筋 違	m	52.0	単管 260×φ48.6mm×20
防 護 網	m ²	40.0	網目 40mm、線径#8
控 杭	本	10	末口径 6～11cm、長さ 1.5m
と び 工	人	3.9	
普通作業員	人	6.8	
普通作業員	人	0.63	（控杭設置） 0.09人×0.7×10本

摘 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 資材の損率は、使用期間等に応じて決定する。 2 控杭は県産間伐材（皮付き）とする。 3 土木工事標準積算基準書（県版）III-5-2の④に控杭を用いたタイプ。
-----	---

コード	
-----	--

名 称	仮設防護柵（基礎タイプ）
-----	--------------

出 典	土木工事標準積算基準書（県版） III-5-1 森林整備保全事業標準歩掛 共通編 8-1-2(3)
-----	--

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	10m当り
-----	-------

名 称	単 位	数 量	備 考
主 柱	m	22.5	単管 450×φ48.6mm×5
横 梁	m	20.0	単管 400×φ48.6mm×5
控 木	m	15.0	単管 300×φ48.6mm×5
筋 違	m	52.0	単管 260×φ48.6mm×20
防 護 網	m ²	40.0	網目 40mm、線径#8
と び 工	人	3.9	
普通作業員	人	6.8	

摘 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 資材の損率は、使用期間等に応じて決定する。 2 コンクリート基礎は別途積算する。 3 土木工事標準積算基準書（県版）III-5-2の④にコンクリート基礎を用いたタイプ。
-----	--

コード	
-----	--

名 称	仮設防護柵
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 8-1-2(3)
-----	---------------------------

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	10m当り
-----	-------

名 称	単 位	数 量	備 考
足場鋼管	m	119.76	単管φ48.6mm
ジョイント	個	16	SA-1
自在クランプ	個	31	φ48.6mm用
菱形金網	m ²	43.2	網目56mm、線径#8、6.0m×6.0m×1.2
亜鉛引鉄線	kg	4.9	線径#6
普通作業員	人	2.0	

摘 要	資材の損率は、使用期間等に応じて決定する。
-----	-----------------------

コード	
-----	--

名 称	路面排水工
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛 2(4)
-----	--

改 訂 日	
-------	--

単 位	10 箇所当り
-----	---------

名 称	単 位	数 量	備 考
杭 木	本	20	径 6cm 以上、長さ 0.45m
横 木	本	10	径 9cm 以上、長さ 1.80m
普通作業員	人	0.20	結束 0.01 人/箇所×20 箇所
普通作業員	人	0.36	杭木設置 0.06 人×0.45m/1.20m×0.8×20 本
雑 材 料	%	3	結束線の費用で結束労務費の 3%

摘 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 資材の運搬が必要な場合は別途計上する。 2 結束線は、なまし鉄線#12 とする。 3 結束労務 $(0.16+0.77)/100$ 箇所=0.01 人/箇所
-----	---

コード	
-----	--

名 称	そだ暗渠工
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 4-1-9(1) 治山編 3-13(4)
-----	--

改 訂 日	290401
-------	--------

単 位	100m当り
-----	--------

名 称	単 位	数 量	備 考
そ だ	束	50	現地発生材、1束=長さ2m、1m縄
一般世話役	人	0.15	設置 0.3人×50%
普通作業員	人	0.40	設置 0.8人×50%
普通作業員 (山林砂防工)	人	1.8	そだ採取 0.36人/10束/2m×100m

摘 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 100m程度までの小運搬を含む。 2 床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。 3 () 山林砂防工の適用条件を満たす場合
-----	--

コード	
-----	--

名 称	簡易木製筋工
-----	--------

出 典	山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱 第8-4
-----	--------------------------

改 訂 日	
-------	--

単 位	10組当り
-----	-------

名 称	単 位	数 量	備 考
簡易木製筋工	基	10	長さ 1.8m、幅 0.5m
普通作業員	人	0.10	

摘 要	1 県産スギ間伐材使用 2 くん煙処理、防腐処理が必要な場合は別途計上する
-----	--

コード	
-----	--

名 称	砕石埋戻し
-----	-------

出 典	森林整備保全事業標準歩掛 共通編 4-1-9(2)
-----	---------------------------

改訂日	290401
-----	--------

単 位	10m ³ 当り
-----	---------------------

名 称	単 位	数 量	備 考
世 話 役	人	0.3	
特殊作業員	人	0.1	
普通作業員	人	0.7	
バックホウ運転	時間	1.6	クローラ型 排ガス対策型 山積 0.45m ³
埋戻し材	m ³	12	
諸 雑 費	%	2	

摘 要	<p>1 埋戻し材は再生クラッシャーラン RC-80 を標準とし、\pm分+0.2 を含む。</p> <p>2 諸雑費は、締固め機械等の運転経費であり、労務費、バックホウ運転経費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。</p>
-----	---